

2021年12月6日

保護者各位

宝生ハイツ建替え計画への要望の署名のお願い

保護者の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

11月の保護者会にて校長先生よりご報告をいただきました、隣接する宝生ハイツ管理組合の建替え計画——東京都総合設計制度を利用して地上20階・地下1階、能楽堂と一体になった高さ70メートル強のマンションを、学園の西館の真正面に間近に対面する形で建設する計画——が進められているということに対して、執行部一同、大変憂慮しております。当初の計画では、教室の窓と計画マンションのベランダが真正面に対面する形でしたが、学校との交渉により、12月になって、学園西館の窓及び中庭を見下ろせる11階までのベランダはなくなることになりました。また、11階までの学園に対面する窓は不透明ガラスとなりました。しかし、12階以上の階はベランダが残ったままで、地上20階という規模は変わらず、日照障害等教育環境の甚だしい悪化は全く解消しておりません。

そこで、東京都、文京区に対して、桜蔭学園PTAとして、要望書を提出することにいたしました。以下、要望書の文面をお示ししますので、皆様にもぜひご理解ご協力をお願いいたします。

また、要望書提出に伴い、ご署名もお願いすることにいたしました。要望書の趣旨にご賛同いただける方は、ご署名をお願いいたします。記入欄に、住所・氏名をご記入いただき、12月11日(土)までに各クラスの担任の先生にご提出ください。生徒の皆さん、ご家族の方々、ご親戚、学校関係者など、趣旨にご賛同いただける方にもご協力をお願いできましたらありがたく存じます。

なお、いただいた個人情報は、目的以外には使用いたしません。

要望書提出先は、東京都知事・東京都議会・文京区長・文京区議会です。

桜蔭学園PTA執行部一同

令和3年12月〇〇日

東京都知事

小池 百合子 殿

宝生ハイツ建替えによって想定される桜蔭学園の教育環境悪化を避けるための要望書

東京都文京区本郷1丁目5番25号

桜蔭学園PTA執行部一同

保護者一同

(連絡先 桜蔭学園 立麻和子)

電話 03-3811-0147

平素より桜蔭学園へのご理解とご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

私どもは、桜蔭中学校・桜蔭高等学校へ通っている1400名の女子生徒の保護者でございます。

現在、文京区本郷1丁目5番7号において、「(仮称)宝生ハイツ建替え計画」と称する地上20階・地下1階、能楽堂と一体になった高さ約69メートル(最高高さ77メートル)のマンション建替え計画があると宝生ハイツ管理組合より伺っております。この地域は高さ制限が46メートルの地域ですが、近隣には46メートルに及ぶ建物すらほとんどございません。ここに、総合設計制度を用いて70メートルもの建物の建築を計画しています。このビルが接近して建ちますと、ビルの北東面に隣接する地上6階地下2階の桜蔭学園においては、西面にしかない教室の窓の前にビルが立ち塞がることとなります。子どもたちの教育環境に多大な影響を受けるのは必至と懸念しております。

桜蔭学園は、大正13年に文京区本郷の高台に校舎を得て以来、聖の溪を望む開けた良好な教育環境のもと、「礼と学び」の心を大切に自立した女性の育成を目指すという教育理念に支えられ、子どもたちは日々先生方の熱心なご指導を受け健全に成長しております。

今般のマンション建替え計画が予定通りに進行するようなことになれば、この良好な教育環境が大きく阻害されることとなりますので、以下の事項に関する強い懸念をここに表明いたします。

都知事におかれましては、総合設計の許可処分を検討するに際して、慎重なご判断をお願いいたします。

- 1, 子どもたちが安心して学習に励み、伸びやかな学校生活を送ることができなくなります。
教室の窓の間近にマンションの居室が対面することによって、子どもたちのプライバシーが著しく侵害され、教室・学校生活の音、また居住者の生活音がつつめけになり、落ち着いて学習に集中したり、活動したりすることができなくなります。
- 2, 大規模・高層のマンションが建築されることで、日照障害・採光障害や風害・通風障害、電波障害、光害の発生などによる教育環境の悪化が予想されます。
現在の宝生ハイツは8階建の建物ですが、これが一挙に20階建になると冬には殆ど桜蔭学園西校舎自体に日が当たりません。
- 3, 居住者の増加や出入りする車両台数の増加による交通事故等、子どもたちの事故遭遇の危険が増大します。
- 4, さらに、居住者の増加や出入りする車両台数の増加により、現在の白山通りから裏に入った静謐な教育環境が大いに阻害される恐れがあります。
- 5, 以上のような教育環境の悪化が、長い時間を学園において過ごす子どもたちの精神面へ悪影響を及ぼすことが大いに心配されます。

以上の懸念から、保護者一同としましては、進行中の宝生ハイツ建替え計画案をとうてい承認することはできません。文の京を標榜する文京区においてこのような教育環境の悪化を伴う恐れのある大規模マンションの建替えを行う計画には、断固反対いたします。

宝生ハイツ建替えにより想定される教育環境の悪化を避けるための署名簿

日頃は桜蔭学園へのご理解とご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

既に桜蔭学園保護者の皆様には桜蔭学園からの説明がありご承知のことかと存じますが、現在、桜蔭学園の南西部側にある宝生ハイツの建て替え計画が進んでおります。学園側に示された計画案では、建築予定の建物は、地上 20 階・地下 1 階建、総戸数 210 戸の能楽堂と一体になった高さ約 70 メートルのマンションです。このような大規模マンションが建築されることになれば、近隣の住環境に大きな変化をもたらすことは勿論、マンションの北東面に隣接する桜蔭学園においては、生徒たちの教育環境に重大な影響を受けるのではないかと懸念しております。

桜蔭学園は、大正 13 年に現在の地に校舎を得て以来、静謐な本郷の住環境と良好な教育環境のもと、「礼と学び」の心を大切に自立した女性の育成を目指すという教育理念に支えられ、これまでにあまたの人材を世に送り出して参りました。

今般の宝生ハイツマンション建て替え計画案が予定通りに進行するようなことになれば、生徒たちの学園生活上のプライバシー侵害、日照や風害、電波障害その他人や車の増大に伴う軋轢の発生など、この良好な教育環境が大きく阻害される事態になることが予測されますので、そのようなことにならないよう行政庁に対して良好な教育環境を守って下さるよう働きかけたいと存じます。

どうぞこの趣旨にご理解を賜りたく、またご賛同いただける皆様にはその意思表示の証としてご署名を賜りたくここにお願い申しあげる次第です。

なお、いただきました個人情報、目的以外には使用いたしません。

(消えないペンでお書きください)

氏 名	住 所